

■ 県内分布

阪神、東播磨、西播磨、但馬、丹波

■ 国内分布

北海道(西南部)、本州、四国

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○

詳細は非公開

■ 特記事項

シカの採食による影響で減少し、最近はまったく確認できていない。2020年版でCランクからAランクに変更した。

■ 保護上の留意点

シカの採食による影響の抑制が重要である。

■ 種の概要

日当たりのよい草原に生える多年草。短い地下茎から直立する数本の細い茎を出し、高さ25-70cmになり、軟毛がやや密に生える。葉は対生し、茎の上部のものが大きく下部の方へ小さくなり、ほとんど柄がなく、卵形で先はとがり基部は円く、縁に荒く不規則な鈍鋸歯があり、両面にやや密に軟毛が生え、長さ2-4.5cm、幅1-3cm、6-7月、茎の上部の葉腋から長さ5-20cmの細い花序を出し、多くの花をつける。花柄は長さ2-3mmで、密に軟毛が生える。萼裂片は披針形でややとがる。花冠は淡紅紫色または淡青紫色で皿形、径6-8mm。